

# Gender Equality

今とこれからを輝いて生きる

## 気が付けば自分にも… アンコンシャス・バイアス



日本は諸外国に比べて、男女共同参画の推進が遅れているという指摘があります。それは「ジェンダーギャップ指数」という世界経済フォーラムが発表している経済・教育・保健・政治分野の男女平等度を表す指数で、日本が156か国中120位だったこと(令和3年3月公表)からも分かります。日本で男女共同参画の取組が進まない原因として、内閣府は「固定的な性別役割分担意識」が社会の中に根強く残っていることと社会に「アンコンシャス・バイアス」があることを挙げています。

### 「アンコンシャス・バイアス」とは

アンコンシャス・バイアスとは「無意識の偏ったモノの見方」のことです。無意識の思い込み、無意識の偏見などと表現されることもあります。多くの過去の経験や周囲の意見、日々接する情報から、自身の中で積み重なるものです。決して悪意があるわけではないのに、偏った見方・考え方・行動をとる原因になります。

アンコンシャス・バイアスが根底にあることで、そこから生まれた言動が、知らず知らずのうちに相手を傷つけたり、自身の可能性を狭めたりするなどの影響を与えます。自分では悪気がないのに「他人からハラスメントと指摘されることがある」こともアンコンシャス・バイアスが原因の場合があります。

### あなたにもこんな「アンコンシャス・バイアス」 はありませんか

- 血液型を聞いて、相手の性格を想像することがある。
- 女性は感情的になりやすい。
- 男性は人前で泣くべきではない。
- 性別、世代、学歴などで相手を見ることがある。
- 女性には女性らしい感性があるものだ。
- 家事・育児は女性がするべきだ。
- 男性から育児や介護休暇の申請があると、「奥さんは？」と咄嗟に思う。
- 自治会や町内会の重要な役職は男性が担うべきだ。
- 大きな商談や大事な交渉事は男性がやる方がよい。
- 組織のリーダーは男性の方が向いている。

### 気付くことが大切です

アンコンシャス・バイアスは誰にでもあります。しかし、次のことに気を付けるだけで影響を抑えることができます。

- ①「こうあるべきだ」という考えを見直し、決めつけや押しつけをしないこと
- ②自分には「アンコンシャス・バイアスがある」ということを意識すること

「男はこうあるべきだ」「女はこうあるべきだ」など、無意識のうちに決めつけていません。

アンコンシャス・バイアスへの気付きは、多様性を認め合う社会の実現に向けての第一歩だと言われています。みんなが気付くことで、一人ひとりが生き生きと活躍する社会をつくりましょう。

福岡県では、アンコンシャス・バイアスへの認知と理解を広げるため、特設サイトを開設しています。「自分の当たり前が、他人の当たり前とは違うこと」に気付けます。ぜひご覧ください。



☎総務広報課男女共同参画推進室 ☎72-2111

おごおり

配偶者や恋人からの暴力に悩んでいませんか？ひとりで悩まずに相談してください。

**女性ホットライン ☎092-513-7337**

月～金曜日/午前10時～午後5時(祝日、12月29日～1月3日を除く)

配偶者や恋人からの暴力についての相談のほか、セクシュアル・ハラスメントや仕事、地域、家庭のことなどさまざまな悩みに、専門の相談員が対応します。

